

企業理念体系

当社が長い歴史の中で培ってきた企業風土や各ステークホルダーからの信頼を受け継ぎつつ、将来へ向けても変わらない当社の志を「鳥居薬品の志」と定め、企業理念としています。大切にしている価値観として「TORII's POLICY」を、また経営の基本的考え方として「4Sモデル」を位置付け、「鳥居薬品の志」の実現に向けて取り組んでまいります。

企業理念 鳥居薬品の志

患者さんとそのご家族や医療に携わる方々に誠実に向き合い、患者さんの健康回復と、病に縛られない豊かで笑顔多い人生に貢献する

長い歴史の中で培った皆様からの信頼を受け継ぎながら、時代や環境に合わせて柔軟に変革・進化し、私たちだからこそ出来る医療への貢献に挑戦し続ける

大切にしている価値観 TORII's POLICY

- つながる“ひと”すべてを大切に
- 誠実・まじめがトリイのトリイ
- 全員当事者 脱・評論家
- 新しいことでもおそれずにやってみよう
- すべての経験を糧に、私たちは成長し続ける

経営の基本的考え方

4Sモデル

私たちは、高品質の事業活動によって生み出される資金を循環／拡大することを通じて、お客様、株主、社会、社員の四者に対する責任をバランス良く果たし、満足の総和を高めていきます。



※4SとはCS、IS、SS、ESの総称

CS (Customer Satisfaction) : お客様に対する責任
より良い薬、正しい情報を医療関係者を通じて患者さんに提供することにより、人々のQOL (Quality Of Life) 向上に貢献するように努めます。

IS (Investor Satisfaction) : 株主に対する責任
適時適切に会社情報を開示するとともに、適正な利潤の還元と企業価値の増大を図るように努めます。

SS (Social Satisfaction) : 社会に対する責任
高度な倫理観を保持し、社会要請に応じた事業活動を通じて、より良き企業市民となるように努めます。

ES (Employee Satisfaction) : 社員に対する責任
個人々人を尊重し、成長の機会を均等に与え、公正な評価に基づく処遇を推進することにより、働きがいを実感できるように努めます。

目次

Introduction

- 1 企業理念体系
- 2 目次
- 3 鳥居薬品の歩み
- 4 数字で見る鳥居薬品

価値創造ストーリー

- 6 トップメッセージ
- 10 価値創造プロセス
- 11 資本戦略
- 12 ビジネスモデル
- 13 中長期事業ビジョン「VISION2030」
- 14 事業戦略
- 16 中期経営計画
- 18 外部環境認識／リスクと機会

サステナビリティ

- 19 サステナビリティ
- 20 マテリアリティ
- 21 **CS** お客様に対する責任
- 24 **IS** 株主に対する責任
- 26 **SS** 社会に対する責任
- 28 **ES** 社員に対する責任

コーポレートガバナンス

- 30 役員一覧
- 31 スキル・マトリックス／組織図
- 32 副社長メッセージ
- 34 コーポレートガバナンスの状況
- 38 社外取締役メッセージ
- 41 コンプライアンス
- 42 リスクマネジメント

データセクション

- 44 財務データ
- 51 ESGデータ
- 52 会社情報
- 53 株式情報

編集方針

当社は、株主・投資家をはじめとした幅広いステークホルダーの皆様
に当社の活動についてより深く理解していただくため、財務・非財務
情報を総合的に取り入れた統合報告書を発行いたします。

当社についての詳細な情報はコーポレートサイトでも開示しています。

▶<https://www.torii.co.jp/>

対象期間：2023年度(2023年1月1日～2023年12月31日)
一部、2024年1月以降の情報も含まれます。

対象組織：鳥居薬品株式会社

発行時期：2024年6月

参考ガイドライン等：

国際会計基準(IFRS)財団 「国際統合報告フレームワーク」
経済産業省 「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」

注意事項

本レポートに記載している業績見通し等の将来に関する記述は、開示時
点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不
確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のもの
ではありません。したがって、実際の業績等は、さまざまな要素により、
これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることを
ご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果
にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。

鳥居薬品の歩み

当社は、1872年の創業以来、150年以上の長い歴史の中で培ってきた信頼を大切にしつつも、過去に囚われることなく、柔軟な発想と機敏な行動により、自らを変革してきました。今後も私たちだからこそ出来る医療への貢献に挑戦し続けてまいります。

腎・透析領域

2009年
経口そう痒症改善剤
「レミッチカプセル」発売



2014年
高リン血症治療薬
「リオナ錠」発売



2020年
腎性貧血治療薬
「エナロイ錠」発売



皮膚疾患領域

1975年
外用副腎皮質ホルモン剤
「ロコイド軟膏・クリーム」発売

1993年
外用副腎皮質ホルモン剤
「アンテベート軟膏・クリーム」発売



2020年
外用ヤヌスキナーゼ（JAK）阻害剤
「コレクチム軟膏」発売



アレルギー領域

1963年
アレルギー診断治療薬
「アレルギーエキス」発売

2014年
スギ花粉症の
アレルギー免疫療法薬
「シグダレン スギ花粉舌下液」発売
※ 2021年販売終了

2015年
ダニアレルギーの
アレルギー免疫療法薬
「ミティキュア ダニ舌下錠」発売



2018年
スギ花粉症の
アレルギー免疫療法薬
「シグダキュア スギ花粉舌下錠」発売



鳥居薬品の出来事

1872年
鳥居徳兵衛が横浜市境町において、洋薬輸入商「植野屋」を創立

1909年
薬品試験所を設置し、私封品の製造販売を開始



1911年
東京都中央区日本橋本町に出張所（現在の本社）を開設

1921年
株式会社鳥居商店を設立

1949年
鳥居製薬株式会社を合併し、鳥居薬品株式会社に商号変更

1963年
当社株式を店頭銘柄として東京証券業協会に登録

1977年
千葉県佐倉市に佐倉工場を竣工

1983年
米国メルク社が当社株式の過半数を取得し、当社の親会社となる

1988年
アサヒビール株式会社が当社株式の過半数を取得し、当社の親会社となる

1990年
現本社ビル竣工

1993年
東京証券取引所市場第二部に上場

1995年
東京証券取引所市場第一部に指定替え

1998年
日本たばこ産業株式会社（以下、JT）が当社株式の過半数を取得し、当社の親会社となる

1999年
JTとの間で営業機能は当社へ統合し、研究開発機能はJTへ集中するという協業体制を確立

2019年
抗HIV薬6品の日本国内における独占的販売権等に関するライセンス契約を終了

2020年
岩城製薬株式会社に佐倉工場を譲渡

2022年
市場区分の見直しにより東京証券取引所市場第一部からプライム市場へ移行

その他領域

2021年
遺伝性血管性浮腫発作抑制用血漿カリクレイン阻害剤
「オラデオカプセル」発売



数字で見る鳥居薬品

主要製品・商品

アレルギー領域

■ シダキュア スギ花粉舌下錠

スギ花粉症のアレルギー免疫療法薬



2023年度

11,356百万円

(対前年度
+18.2%)

スギ花粉症に対するアレルギー免疫療法薬であり、成人及び小児等において使用可能な速溶性の舌下錠です。

■ ミティキュア ダニ舌下錠

ダニアレルギーのアレルギー免疫療法薬



2023年度

10,148百万円

(対前年度
+16.7%)

ダニ抗原によるアレルギー性鼻炎に対するアレルギー免疫療法薬であり、成人及び小児等において使用可能な速溶性の舌下錠です。

皮膚疾患領域

■ コレクチム軟膏 外用ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤



2023年度

7,450百万円

(対前年度
+36.2%)

免疫反応の過剰な活性化を抑制することでアトピー性皮膚炎(AD)を改善する世界初の外用ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤です。2023年1月、添付文書に6か月以上2歳未満のAD患者を対象とした臨床試験成績を追加しました。

■ アンテベート 外用副腎皮質ホルモン剤



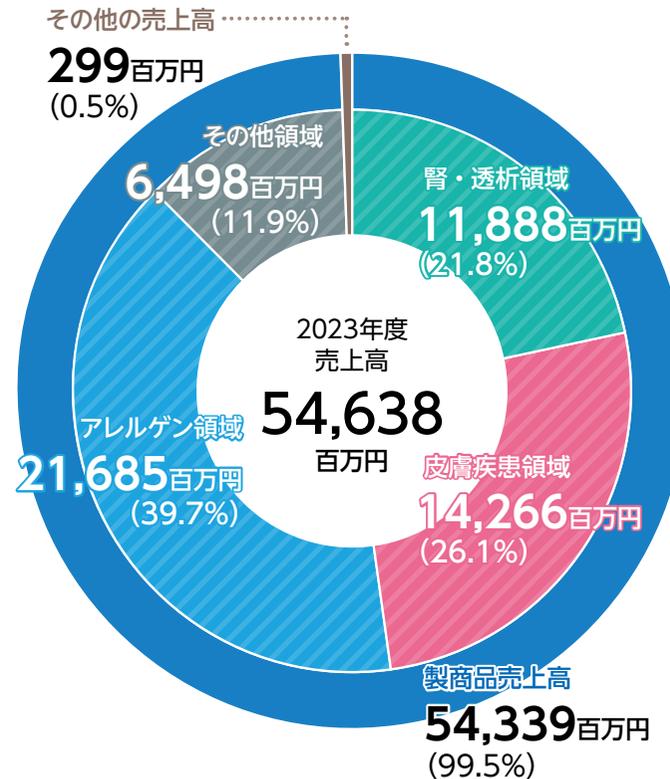
2023年度

4,533百万円

(対前年度
+13.5%)

アトピー性皮膚炎や接触皮膚炎等の皮膚疾患に対して炎症を抑えることによって症状を改善する薬剤です。

領域別売上高



腎・透析領域

■ リオナ錠 高リン血症治療剤/鉄欠乏性貧血治療剤



2023年度

7,515百万円

(対前年度
+8.3%)

「慢性腎臓病患者(血液透析患者、腹膜透析患者、保存期腎不全患者)における高リン血症の改善」と「鉄欠乏性貧血」の2つの適応症を有する薬剤です。

■ レミッチ 経口そう痒症改善剤



2023年度

2,725百万円

(対前年度
△22.9%)

従来の止痒薬では効果が不十分であった透析患者さんの痒みや、慢性肝疾患患者さんの痒みを改善する薬剤です。

数字で見る鳥居薬品

財務指標

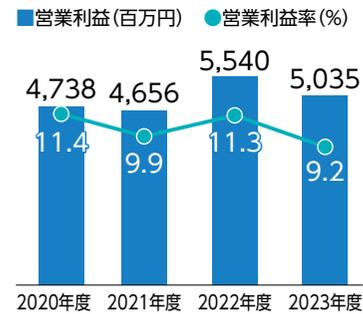
売上高

546億円



営業利益／営業利益率

50億円／9.2%



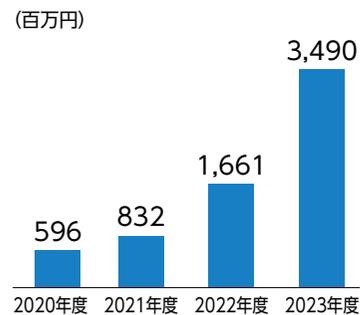
研究開発費控除前営業利益

85億円



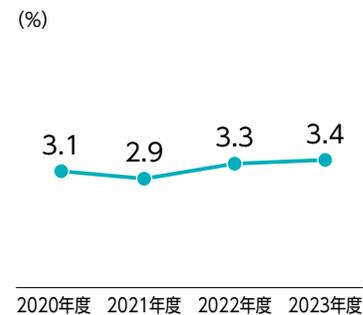
研究開発費

34億円



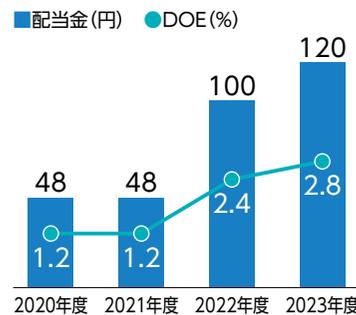
ROE

3.4%



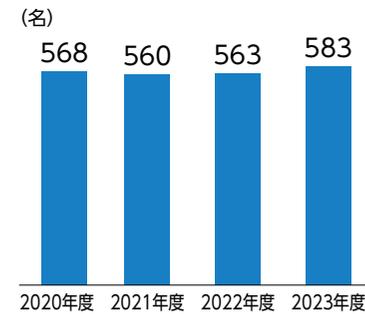
配当金／DOE

120円／2.8%



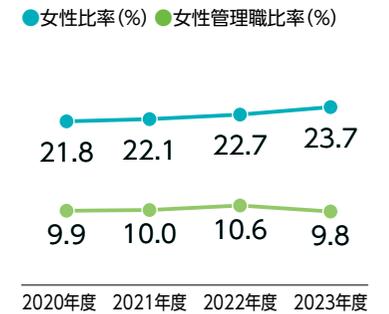
従業員数

583名



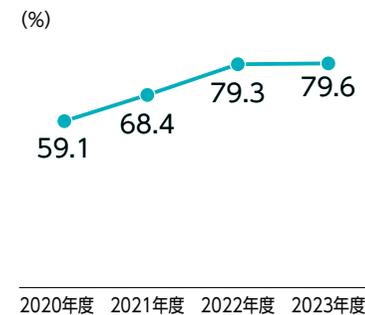
女性比率／女性管理職比率

23.7%／9.8%



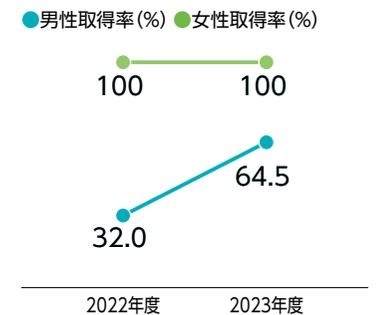
有給休暇取得率

79.6%



育児休暇取得率 (男女別)

男性 64.5% 女性 100%



※ 4～3月集計